【日本弁理士会知財ビジネスアカデミー講座】

知財経営のための財務(実践編)

～ビジネスを理解し、課題を解決する知財エキスパートを目指して～

実施日程	第1回：11月25日（水）18：15～21：30 第2回：12月　9日（水）18：00～21：15 第3回：12月23日（水）18：00～21：15
実施場所	弁理士会館（千代田区霞が関3－4－2） ※本講座は**現地集合**での実施となります。
受講料	会員　30,000円（税込）　非会員　40,000円（税込）
対象者	● 知財業務を「権利取得」から「経営に貢献する提案」へ進化させ、知財経営コンサルティング業務に本格的に取り組みたい方 ● 経営者やクライアントに対して、財務的な根拠を交えながら知財の価値や投資効果をわかりやすく伝え、コミュニケーション力・提案力を高めたい方 ● 中小企業の経営課題に寄り添い、知財を活用した具体的な経営支援ができるパートナーになりたい方 ● 社内で経営層や他部門に対し、知的財産戦略の必要性や方向性を論理的に提言し、理解と協力を得られる力を身につけたい方 ※ 財務・会計の事前知識は不要です。知財の実務経験を活かしながら、新たに「財務の視点」を武器に加えたい方を歓迎します。
概要 **ねらい**	本研修は、弁理士が知財経営支援を行う上で必要となる財務・ファイナンスの基本知識を習得し、それを実務に活かす力を養うことを目的とします。 単にアカウンティングやファイナンスの手法を学ぶのではなく、財務情報から企業の経営課題を仮説化し、利益の源泉や知的資産（無形資産）を把握した上で、企業価値向上に資する知財経営支援提案を行えるようになることをねらいとしています。 3回の研修を通じて、財務諸表の読解、知的資産の可視化、企業価値・投資価値評価のエッセンス、無形資産評価手法の基本を段階的に学び、最終的に実践的な「知財経営支援提案書」を作成します。 具体的な特徴は以下の通りです。 1．財務諸表の読み方や指標の理解で終わらず、「この数字からどのような経営課題が読み取れるか」を仮説立てする力を養成します。 2．財務数値の背後にある知的資産を特定・整理し、それが企業の利益にどう貢献しているかを把握する視点を養います。知財の専門家ならではの強みを活かせる内容です。 3．DCFやマルチプルなどの本格的な算定スキルではなく、「知財が企業価値にどう貢献するか」を経営者に説明できる最低限の考え方と無形資産評価手法の使い分けを、コンパクトに習得します。 4．クライアントや社内経営層への提案を想定し、財務的根拠を交えながら知財戦略を語れるようになることを重視します。 5．一貫したケース企業を用いたグループ演習を通じて、「分析→仮説→提案」のプロセスを繰り返し体験し、知識を「使えるスキル」に変えることを重視します。 これらの特徴により、本研修は「財務を知っている弁理士」ではなく、「財務を武器に知財で経営に貢献できる弁理士」を育成することを目指しています。

到達目標	財務情報から経営課題を仮説化し、企業の利益の源泉や知的資産を把握したうえで、最終的に知財経営支援提案書を作成できるようになることを目指します。



担当講師

寺石 雅英（てらいし　まさひで）

一橋大学商学部卒業、一橋大学大学院商学研究科博士後期課程修了。名古屋商科大学助教授、群馬大学社会情報学部教授等を経て、2011 年４月より大妻女子大学キャリア教育センター教授。群馬大学名誉教授。この間、郵政研究所、日本資産流動化研究所、建設経済研究所、道路経済研究所等の客員研究官や研究委員、国際ベンチャー企業協議会監事、実践経営学会理事、一般社団法人日本営業科学協会理事などを歴任。

2001 年には、国立大学教官として日本で初めて JASDAQ 上場企業の社外監査役に就任（㈱エスイー）。さらに、日本一の店舗数を誇るカラオケチェーン（まねきねこ）の持株会社・㈱コシダカホールディングスの社外取締役を経て、現在は、世界最大のフィットネスチェーン（Curves）を国際展開する㈱カーブスホールディングスの社外取締役を務める。また自動運転技術を活用した社会インフラの構築を目指す㈱T2 の監査役にも就任。全国の余命 3 か月の温泉旅館のコンサルタントとしても活躍中。

専門はファイナンス論、行動経済学、価格決定論、観相統計学。主著に、『現代経営学』（同文舘）、『ベンチャー創造のダイナミクス』（文眞堂）、『ザ・統計学』（ファズボックス）、『金融工学のエッセンス』（ファズボックス）、『創造への感知力』（ファズボックス）など多数。

内容（予定）

第１回　財務諸表を「知財の視点」で読む

事前課題：仮想企業 A 社のケースの読み込み

（１）オリエンテーション

・研修全体像と到達目標の共有

（２）財務諸表の基本構造と読み方

・財務三表の基本構造
・主要財務指標と知的財産関連の視点
・財務諸表の読み方

（３）利益構造の分析

・CVP 分析の基礎
・財務シミュレーションによる感度分析

（４）A 社の財務諸表を用いた個人&グループ演習

・利益源泉リストの作成
・課題仮説の抽出

第２回　知的資産の可視化と価値創造ストーリーの構築

事前課題：利益源泉リストと課題仮説表の完成

（１）知的財産と財務との接続

・知的財産の分類と知的財産マップ
・利益源泉図と知的財産マップの連動（財務は結果、知財は原因）

（２）A 社の知的財産マップと利益貢献に関するグループ演習

・A 社の知的財産マップの作成
・A 社の利益源泉リストと知的財産マップの連関図の作成

（３）企業価値・投資価値評価のエッセンス

・投資価値、企業価値、WACC の基本的考え方
・知的財産への 3 つのアプローチ
・知財投資の意思決定で使える簡易視点

	第３回　知財経営支援提案書の作成とプレゼンテーション **事前課題：A 社への提案メモの作成** **（１）提案書の基本構成と評価ポイントの共有** ・提案書の基本構成 ・評価ポイントの共有 **（２）A 社向け知財経営支援提案書の作成演習** ・知的財産投資の意思決定プロセス ・どの投資ストラクチャーを選択すべきか？【演習問題】 **（３）提案発表** ・各グループのプレゼンテーション ・相互フィードバック ・講師からのコメント **（４）まとめ** ・実践に向けたポイント ・質疑応答
注意事項	**（１）本講座は日本弁理士会の「継続研修」の単位認定対象講座です（各回３単位）。** **（２）研修は特定の企業を対象としてグループ討論形式で進めます。** **（３）各自パソコンを会場に持参してください。** **（４）研修資料は各回１週間前にメールにてご連絡します。**

◆お申込みについて

・申込期限：2026 年 11 月 18 日（水）正午
・申込方法：次のページからお申込みください。

▶申し込みページ

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/6ad564edc4d9da1e9754a39d

◆ご注意ください

・お申込みにあたっては、受講規約を事前にご確認ください。
・お申し込みをもって、規約内容に同意したものとみなします。

▶受講規約（PDF）　別のページが開きます。